

平成22年播種用

水稻種子・備蓄種子の取扱い

平成21年産 採種ほ産種子

- 採種圃産種子の生産・出荷に当たっては、「集団専門栽培採種ほ設置管理運営及び生産・管理出荷基準」を設け、基準を遵守しております。
- なお、種子純度確保の観点から、主要品種について原料出荷前にDNA鑑定を実施し、適正な原料を買入、製品製造後再度DNA鑑定を実施し、適正と判断された製品を供給します。
- 平成21年産種子は全体に小粒です。播種機の播種量調整を行って下さい。

・いもち病の発生が多かった年なので、適切に種子消毒を行って下さい。

備蓄種子

- 採種圃産種子の安定供給の観点から、備蓄制度の運用も含めた計画的な種子事業に取り組んでおり、22年播種用種子として、備蓄種子も供給される事をご理解願います。
- 備蓄種子は、専用の5℃の低温貯蔵庫で保管され、発芽試験で発芽率90%以上のものを種子として出荷しています。

留意事項

- 備蓄種子は、必ず種子消毒を行い、浸種を普通より1~3日長く行い十分吸水させる。
- 備蓄種子は、同一品種でも、年産別、区分別に別々の袋に入れて浸種する。

平成22年播種用種子の発芽勢・発芽率(%)

年産	区分	品種	水分	発芽勢	発芽率
H21	採種	きらら397	14.98	94.22	96.83
		ななつぼし	14.85	95.59	97.15
		ほしのゆめ	14.98	96.10	97.85
		おぼろづき	14.90	95.74	97.71
		ゆめぴりか	14.95	95.11	96.51
	転用	ななつぼし	14.76	96.32	97.73
H20 備蓄	採種	きらら397	14.24	96.25	97.19
		ほしのゆめ	14.11	91.80	93.75
		ななつぼし	14.24	94.79	96.07
		ゆきひかり	14.04	96.30	97.60
		おぼろづき	14.27	94.43	95.46
		ほしまる	13.97	96.55	97.18
		ゆめぴりか	14.21	93.50	94.86
		吟風	14.22	97.30	98.30
		風の子もち	14.20	92.50	95.50
		しろくまもち	14.40	93.29	95.29
	転用(原粋)※	はくちょうもち	14.30	96.50	96.50
	風の子もち	14.20	94.50	97.00	
H19 備蓄	採種	彩	13.90	98.00	99.00
		あやひめ	13.88	96.13	99.00
		大地の星	13.64	96.26	97.21
		彗星	13.80	95.00	97.00

※転用(原粋)：原種余剰分を一般ほ向けに転用したもの。(発芽試験：22年1月種子センター実施)
 ※大地の星・あやひめ・ふっくりんこ・ほしまる・吟風・彗星・ほしのゆめ(転用)、はくちょうもち・風の子もち・しろくまもち・きたゆきもちは別途ホクレンより連絡します。

消毒済種子の薬剤は

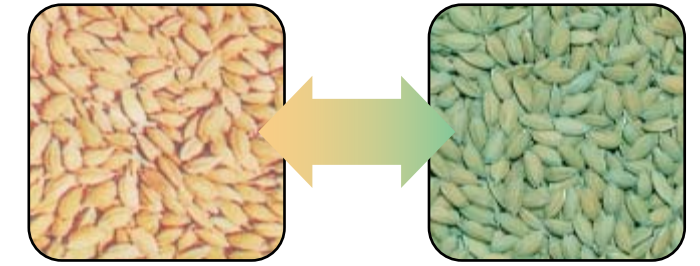
「モミガードC・DF」です

消毒済種子のメリット

- 作業労力の軽減
- 薬剤のムダを省く
- 消毒の均一化
- 環境汚染の防止

消毒済種子の着色による区別

着色剤により色をつけ、未消毒のものと区別しています。



■未消毒の種子

■消毒済のうるち・もちの種子
 消毒の方法：モミガードC・DF7.5倍液、乾燥種子重量の3%吹付

消毒済種子の使用上の注意

- ①塩水選をすると薬剤が落ちるので塩水選は行わない。
- ②浸漬・吸水に当たっては、下記の浸種・催芽を参考にする。
- ③浸漬水を交換するときは静かに取り替える。
- ④流れ水、留め池等での浸漬は行わない。
- ⑤消毒済種子は、食料に供したり、家畜に与えたりできません。余った場合は、必ず適切に処理する。
- ⑥浸漬した後の水は、用排水路・河川には絶対流さない。
- ⑦消毒済種子の空き袋は必ず適切に処理する(食料等に供するものには絶対使用しない)。

浸種・催芽

- 水温・日数：11~12℃で7~9日
- 水の交換：2~3日に1回交換する
- 催芽温度：30~32℃

催芽(はと胸程度)を確認して播種する。

循環式催芽機を使用して催芽する場合は、必ず食酢を用いて消毒する。

種子は毎年更新しましょう

(北海道米あんしんネット、種子更新100%が産地評価の基本です)

水稻種子の紙袋について

包装相違事故防止に係る改善策として、下記のように品種別に紙袋下部の色分けを行い区別し事故の再発防止に努め取り進めております。

1. 品種別区分

(1) 色帯線の品種 (8品種)

きらら397・ほしのゆめ・ななつぼし・大地の星・あやひめ・おぼろづき・ゆめぴりか・はくちょうもち

(2) 下部クレープ色分け品種 (8品種)

ゆきひかり・ふっくりんこ・ほしまる・吟風・彗星・風の子もち・しろくまもち・きたゆきもち

2. 全品種の紙袋の裏面に品種名を印刷表示

3. 水稻種子の紙袋について

主要農作物種子法による生産物審査証明書について
平成17年産より、種苗法施行規則に基づく表示の取扱いが改正された事に伴い、種子袋へ印字により表示しております。

4. 製品ロットNo.調製月日について

- (1) 4cm角ラベルに印字された物を貼付け。(2) 調製日は、〇〇.〇〇.〇〇と表示。
- (3) ロットNo.については、調製ラインごとに1~4で区分け。(1-000000で連番管理)
- (4) ロットNo.を控えておくことにより、万が一の時トレースが可能。

製品ロットNo.調製月日ラベル
貼付例



● 消毒済種子は、紙袋の表面上部及び裏面に記載されてます。



(表) きらら397 (黄色)



(裏)



ほしのゆめ (ローズ)



ななつぼし (茶色)



ゆきひかり (クレープ白)



ほしまる (白点線)



転用種子の取扱について

○ 転用種子とは、採種が間に合わず、通常の米出荷用に刈り取られたものを種子用として利用するものです。

平成21年産では、作柄悪化の影響により「ほしのゆめ」「ななつぼし」の種子量が不足することから、病害虫の発生が少ない箇所を選定し確保しました。

なお、種子純度確保の観点から、採種同様、原料出荷前段階でDNA鑑定を実施し適正な原料を購入、製品製造後再度DNA鑑定を実施し適正と判断された製品を供給します。

転用種子 (一般種子) の発芽勢・発芽率
品種名 発芽勢 (%) 発芽率 (%)
<平均>96.3 <平均>97.7

ななつぼし

※2月5日現在、滝川種苗センター調査

※「ほしのゆめ」は、別途ホクレンより連絡します。

転用種子取扱の注意

転用種子は、やや水分が低いものがあります。浸種に注意しましょう。

- ・水温・日数 .. 11~12℃で、8~9日
- ・水の交換 .. 2~3日に1回交換する
- ・催芽温度 .. 30~32℃

※催芽して確実に発芽していることを確認して、播種する。

※採種同様、種子消毒を適切に行う。



ゆめぴりか (オレンジ)



大地の星 (草色)



ふっくりんこ (クレープ青)



彗星 (草色点線)



吟風 (クレープ黄色)



あやひめ (紫)



おぼろづき (浅葱色)



はくちょうもち (赤)



風の子もち (クレープ赤)



しろくまもち (帯青色クレープ赤)



きたゆきもち (黄点線・クレープ赤)

※浸種作業の際についても、異品種混入防止の為、荷札をつけるなど取りちがいのない様十分注意願います。